



1月7日 弓始神事 百射の儀

新春を言祝ぎ

彌彦神社 宮司代務者

渡部 吉信

新年明けまして

おめでとうございます。

平成三十年 皇紀二千六百七

十八年の年頭を言祝ぎ、皆様方

に新春の賀詞を申し上げます。

謹しみて皇室の弥栄、国の安泰と併せて氏子崇敬者の皆様が平安でありますようお願い申し上げます。

畏くも今上陛下におかれましては平成三十一年四月三十日にて御譲位される趣となりました。

平成二十八年八月に御叡慮を国民にお示しになられて以来、国民斉しく心をよせておりましたが、昨年「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」が公布され、それに係る皇室会議が開催されたの決定であります。同特例法では「天皇は、この法律の施行の日限り、退位し、皇嗣が、直ちに即位する」とあります。古来「天子の位は一日も曠（むなし）すべからず」とあります通り一日の空位の無きこと、並びに関連する祭祀・儀式・行事などが伝統を尊重し、後世の指針となるよう望むものです。

平成三十一年には今上陛下の御在位満三十年の佳節、御譲位と新帝の踐祚そして大嘗祭が斎行されます。国民挙りての御祝いの準備に取りかかねばなりません。

さらに今年には明治改元よりちょうど百五十年の節目となります。明治維新に心を馳せ、未来について考える好機にせねばなりません。明治天皇が国是として神々にお誓いになり、昭和天皇も敗戦後の昭和二十一年元旦に発せられた詔書に国作りの指針とお示しになった「五箇条の御誓文」を揚げて考えるのがと致したいと存じます。

一、広く会議を興し、万機公論に決すべし。

一、上下心を一にして、盛に経綸を行ふべし。

一、官武一途庶民に至る迄、各其志を遂げ、

人心をして倦ざらしめん事を要す。

一、旧来の陋習を破り、天地の公道に基くべし。

一、智識を世界に求め、大に皇基を振起すべし。

平成三十年 戊戌 新春の御社頭

歳旦、午前零時の報鼓を合図に幣殿の御扉が開かれて新しい年、平成三十年が始まる。この刻を待って、拜殿の内外を埋めた参拝者の打つ拍手の音が境内にこだまする。

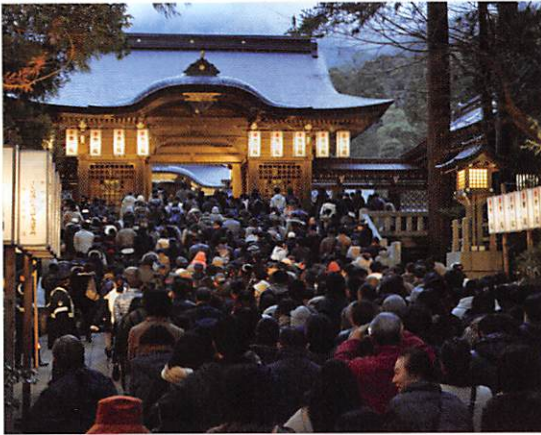
この前後、行く年の御恵みに感謝し、来る年に願いを込めて参拝する二年詣りの人々で長い参道は埋め尽くされる。

元旦午前零時には今年之最遣りが奉納される。

初詣

初祭典・歳旦祭が厳かに斎行され、新しい年を言祝ぎ、皇室の弥栄と国家の平安を祈念する。併せて崇敬者より奉納された献燈の奉告祭、特別祈禱の祈願祭が執り行われる。

元旦の朝が明けそめると、晴やかに着飾った大勢の人々が初詣に訪れる。神社拜殿では新年の御祈禱が初詣に訪れる。境内の各授与所では新しい御神札や縁起物の神矢、熊手守を受け取る人々で賑わいを見せる。



この初詣の参拝は三ヶ日から正月半ばまで続くが、四日からは仕事始めの会社・事業所遠来の初詣団体が連日にわたり参拝する。

本年も大勢の方々が、おやひこさまの新たな御神徳を戴こうと神前に額づく。

新年賀謹

宮司代務者	渡部 吉信	彌彦神社初穂講	彌彦神社初穂講
彌彦神社初穂講	石川 文彦	講長	渡部 吉信
全	相馬 正幸	審議員	多田 総栄
全	米山 信	全	黒坂 正春
權彌宜	高山 勝利	全	佐々木英夫
全	岩方 祝康	全	小林 幸弘
全	増子 喜之	全	半間 良輝
全	宮澤 正昭	監事	村山隆太郎
全	高橋 孝至	彌彦神社敬婦人会	
全	倉橋 大徳	会長	渡部由里子
全	高橋 良直	副会長	鈴木 テル
全	和藤 憲治	全	和平日出子
全	佐藤 智也	全	梨本 テイ
出仕	伊藤 隆矢	幹事長	渡邊 友子
全	渡 伊吹	新潟県菊花連盟	
技師	太田 敏文	会長	渡部 吉信
全	荒木 貢	参与	逢坂 茂
技手	熊谷 義人	全	山崎 正巳
全	外職員一同	全	武田 三郎
責任役員	伴 昭彦	全	田代 庚平
全	捧 賢一	彌彦神社日本鶏の会	
全	大谷 統司	会長	渡部 吉信
崇敬者総代	神田 陸雄	副会長	山際 憲治
全	関 昭一	全	清水 吉郎
全	大原 興人	彌彦神社氏子青年会	
全	藤井 大介	会長	三方 剛
全	星野孝一郎	副会長	早福 百合
全	加藤 治	全	外山雅咲人
全	敦井 榮一	ボーイスカウト西蒲原第七団	
全	小林 保廣	育成会長	渡部 吉信
全	小林 豊彦	団委員長	石川 文彦
彌彦神社氏子会		彌彦神社大々神楽講	
總代	神田 睦雄	彌彦神社交通安全講	
副總代	柳田 豊	彌彦神社崇敬会	
全	河村 八郎		

謹賀新年

彌彦神社前通り
お食事処

松の屋

電話〇二五六四二二一〇番

わっぱ飯膳
松花堂弁当

吉田屋

割烹 お食事
彌彦外苑坂通り
電話〇三六九四二二〇二〇

政府登録旅館(三三七二号)
日親連会員

古宿だいろく

新潟県西蒲原郡弥彦温泉
電話〇三六九四二二〇二六番

彌彦温泉
日親連加盟

彌彦館 冥加屋本店

也屋上展望風呂
電話〇四二〇三四番

彌彦温泉

清水屋

旅館 食堂
彌彦神社前
電話〇三六九四二〇一五番

心和む

桜家

彌彦温泉
割烹の宿
彌彦駅前
電話(94)二〇〇九番

年頭の特種神事

夜宴神事

一月一日～三日



夜宴神事は新年を祝う古伝の特種神事で、元日から三日間にわたり、毎夕六時から拜殿において執り行われる。この神事は「鳥取り」とも称され、神前に木彫りの鶴亀や小鳥を配した鳥台十台をお供えし、小神楽を奏する。第二夜には一月七日弓始め神事の配役が、第三夜には「萬歳楽」が行われる。木鳥は神事終了後、当夜参集した参拝者に抽籤で授与される。

弓始め神事

一月七日

正月七日午前九時より伝統の弓始め神事が斎行される。

神前に七種粥をはじめ山鳥活鯉、勝栗、干柿などの特別な神饌をお供えして、本年の国家安穩、災難消除などを祈願する。四方天地人を弦音により祓い清める。鳴弦の儀の後、神苑内の弓道場において、神職十人によって、百射の儀が古式に則り厳かに執り行われる。

午後からは、同射場にて県内弓道家達による一般奉射が行われる。



粥占炭置神事

一月十六日

年頭に当り、一年十二ヶ月の天候と農作物、海川山野の産物の豊凶を占う神事で、正月十五日夜から十六日朝にかけて厳重に斎行される。

物忌み潔斎した神職により炊き上げられたお粥は十五日夕刻、神前にお供えされる。

翌十六日未明、飯殿において宮司以下神職により、粥占と炭置の神占いが行われる。この神事は一般には公開されないが、その結果は殿内に

掲示され、当社社初穂講員約一万一千人をはじめ農業関係団体等に配布される。

例祭 斎行

二月二日

神幸神事

二月一日～四日

社伝によると御祭神の天香山命は第六代孝安天皇元年二月二日に現世の偉業を成し遂げられ、神退られたと伝えられている。この日、拜殿に奉安された二基の御神輿に大神様と妃神様を御遷し、特殊神饌「大御膳」を奉献し、当社社最重儀の例祭を斎行する。

また、二月一日より同四日まで四日間にわたり、神幸神事が執り行われる。神幸の楽（みゆきのがく）、童女による小神楽を奉奏して御神慮をお慰め申し上げる。雪深く厳寒の時期ながら、この四日間の神事には多数の崇敬者が参列する。

建国記念祭

二月十一日

二月十一日の「建国記念の日」、午前十時より建国記念祭が斎行される。

建国の昔を偲ぶと共に国家の隆昌を祈願し、併せて神武天皇の日本建国に際して大功をたてられた御祭神の御神徳

を景仰する。祭典中、参列者全員により紀元節の歌が高らかに唱和される。

また祭典終了後には、弥彦村建国記念祝賀会主催にて日の丸行進、記念講演会などの奉祝行事が行われる。

謹賀新年

全社社員
心をこめて

弥彦神社前
電話(94)481-133

彌彦神社交通安全講

神にちかう
心ではたせ
交通安全

日本海・佐渡と
越後平野が一望できる——
弥彦山頂へ



弥彦山ロープウェイ

新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦2898番地
TEL (0256) 94-4141
〒959-0323 FAX (0256) 94-4725



お役に立ちます
—夢づくり—

けんしん
新潟県信用組合
TEL 94-2222代

第五十七回 奉納 菊花展閉幕

第五十七回奉納新潟県菊花大展覽会が昨年十一月一日から二十四日まで開催された。期間中約十六万人の参拝観菊者が訪れた。

彬子女王殿下には、格別の思し召しを以て、昨年に引き続き八回目となる寛仁親王賞が御下賜となった。

大風景花壇は「赤城山」と題し、妙義山、榛名山とともに上毛三山の一つに数えられる秀麗な山容を、山頂から裾野広く約三万本の色とりどりの菊花の挿芽と懸崖・杉造りなどの菊鉢で精妙に造園され、好評を博した。

十一月二十日には恒例の献



寛仁親王賞



花祭が執行され、受賞式が執り行われた。主な受賞者は左記のとおり。(敬称略)

▽寛仁親王賞

中菊の部・伊勢菊

川崎 耕 (新潟市)

▽農林水産大臣賞

大菊の部・大数咲

渡邊 捨吉 (新潟市)

▽厚生労働大臣賞

小菊の部・大懸崖

大竹 与市 (新潟市)

このほか、神社本庁統理賞・

神宮大宮司賞・新潟県知事賞

など、特別賞四十賞百十五点が授与された。

崇敬会大祭 齋行

昨年十二月一日、崇敬会大祭が執り行われた。当神社崇敬会は、御遷座七

十年を記念して昭和六十年に結成されたもので、毎朝の御日供祭で会員の家内安全と家業繁栄を祈願し、年一回大祭を執行している。祭典後、祈願された御神札と神饌米の新潟産コシヒカリが全会員に届けられた。

御祈禱奉納者芳名

(平成二十九年九月一日より平成二十九年十一月三十日まで) 敬称略

特別大祈禱奉納

新潟市北区

伏見稲荷大社新潟県豊栄支部

中央区 (株)キタック 田村忠久

田村忠義

東京都 JXTGホールディングス(株)

福島県 (株)ネオクリエーション

別大祈禱奉納

新潟市東区 甲田貞二

中央区 足立泰儀

西区

ヤマト運輸(株)新潟主管支店

南区 波動情報研究所

西蒲区 日鉄住金環境プラントソリューションズ(株)

三条市

燕三条工場の祭典実行委員会

見附市 親松昇

柏崎市 J.A.柏崎農業生産法人協議会 栗田明廣

上越市

(株)エム・アイ・ディジャパン

村上市 本問源之丞

阿賀野市 下間頼龍

西蒲原郡 新潟県自転車競技連盟

東蒲原郡 麒麟山酒造(株)

謹賀新年

総合建設業

一級建築士事務所
設計・施工

株河村組

弥彦大杉通り
電話(04)二〇六九番

株永井自動車

電話(94)四一〇一

お土産 専門店
高橋酒店

彌彦神社前
TEL04二二四二

弥彦温泉

M ホテルヴァイス

弥彦神社前通り
電話〇五(94)五六二番

初宮詣と婚礼記念

彌彦神社認可

やなぎだ写真館

電話(94)四一五五番

東北電力(株)指定工事店

彌彦神社御用

株高倉電気商会

弥彦駅前
電話(04)二二六〇番

東京都 KDDI(株)
LOGO EARTH(株)ラック
石油資源開発(株) 南東栄塗装
青森県 (有)タクモト開発
福島県 ハーモナイズ(株)
群馬県 インベンションボックス(株)
埼玉県 かがやき千秋後援会
千葉県 (株)内藤
長野県 松代建設工業(株)
静岡県 日本銚街話輸出水産業組合
愛知県 木曾御嶽本教八海山一心教会

大祈禱奉納

新潟市中央区
NECネットエスアイ(株)
ナイス(株) 新潟総踊り実行委員会

秋葉区 岡村昇 中村將夫
西蒲区 (株)末広製菓
小林ミブ子
新潟市 フジイコーポレーション(株)
(株)新栄社 笑美の会
長岡市 新潟高周波工業(株)
日本通運(株)中越支店 蒲原モラロ
ジ-事務所 星野照子
上越市 星野歯科医院
西蒲原郡 大門建設(株)
弥彦村遺族会
北蒲原郡 ウッドファースト(株)
東京都 大泉明日香 樋山直明
安波昭
福島県 アトラスハウス(株)
栃木県 本多今司 茂木扶美子
埼玉県 本多靖弘
千葉県 (株)新上
長野県 (有)大東保険サービス
愛知県 海音

月次祭

継続参拝者

二月二日の例大祭にちなんで、毎月二日に月次祭を斎行している。毎月各地から多数の崇敬者が参拝され、次の方々が一月二日の月次祭で継続参拝の表彰を受けられる。

(敬称略)

五十年間継続参拝
J R 新潟鉄道サービス(株) (新潟市)
十五年間継続参拝
岡本 松男 (新潟市)
荒川 禮子 (弥彦村)
五年間継続参拝
藤澤 紀 (弥彦村)
十二ヶ月連続参拝
二十九名(氏名略)

大々神楽講参拝

(九月・十月・十一月中)

燕市 今井恒志郎
十日町市 十日町敬神講

村上市 羽下ケ測講
魚沼市 大白川講

平成二十九年 大々神楽講に世話人表彰

大々神楽講の参拝は、三月十五日の大々神楽始祭から春大々、秋大々と続くが、昨年左記の講中並びに世話人の方々が表彰された。(敬称略)

▽講表彰
百五十年表彰
新潟市 五十嵐弥彦大々講
百三十年表彰
五泉市 山崎伊夜日子講

▽世話人勤続表彰
四十年表彰
新潟市 大野町講
山田 忠
二十年表彰
新潟市 小池講
佐藤 勝男
十年表彰
新潟市 三大字講
熊倉 勝美

外祭

九月中
十六日 長岡市野積茅ヶ原伊夜日子神社秋祭
十月
十八日 JXTGエネルギー(株)・石油資源開発(株)・国際石油開発発帝石(株)三社合同慰霊祭
十一月
十二日 弥彦村弥彦観光索道(株)稲荷祭
新潟市(株)トップカルチャー本社社屋改装竣工清祓式

社頭往来

九月中
三日 茨城県神社庁久慈支部佐原地区神社総代会一行参拝
十一月
十一日 福島県開成山大神宮宮司宮本孝氏外一行参拝
二十八日 静岡県神社総代会清水支部副支部長望月清氏外一行参拝

十月中
五日 茨城県常陸国出雲大社宮司高橋正宣氏外一行参拝
十日 長野県鎮神社氏子総代

十三日 外一行参拝
栃木県國學院大學栃木短期大学日本文化学科・人間教育学科一行参拝
十六日 群馬県自衛隊北関東地域協議会一行参拝
十九日 三重県高倉神社氏子会宮司新居遠一氏外一行参拝
二十日 福井県鎮神社氏子総代外一行参拝

新潟県/弥彦温泉
政府登録国際観光旅館(登録1984号)

四季の宿

みなのや

〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
☎ 0256-94-2010(代)
FAX 0256-94-4463

新潟の冬に鍛えられた
除雪機

富士コーポレーション(株)

燕市小池285番地
TEL 0256-64-5511

謹賀新年

厄祓いのご案内

古くから厄年は、永い人生における一つの転換期として心身共に摂生を重んじ、万事に慎むべき大事な節目の年とされていきます。

厄年に当たるとなると、神社に参拝してお祓いを受け、厄難消除、開運招福を祈念するのが慣わしとなっており、彌彦神社では、随時厄祓いの御祈禱を執り行っております。新しい年の初めにお祓いを受け、すがすがしい気持ちで一年をお過ごしください。今年の方々お誘い合わせの上、ご参拝されますようご案内申し上げます。

本年は下記の生まれ年の方々が厄年に当たっております。

		平成30年厄年表 (数え年)			
		男 性		女 性	
前厄	24歳	平成7年生	18歳	平成13年生	
本厄	25歳	平成6年生	19歳	平成12年生	
後厄	26歳	平成5年生	20歳	平成11年生	
前厄	41歳	昭和53年生	32歳	昭和62年生	
本厄	42歳	昭和52年生	33歳	昭和61年生	
後厄	43歳	昭和51年生	34歳	昭和60年生	
前厄		60歳	昭和34年生		
本厄		還暦 61歳	昭和33年生		
後厄		62歳	昭和32年生		



新嘗祭に併せて 初穂講 秋季大祭を斎行

十一月二十三日と二十四日の両日にわたり、新嘗祭に併せて当神社初穂講秋季大祭が斎行された。初穂講世話人、同講員、農業関係者多数が参列し広い拝殿が埋まった。

新潟県の平成二十九年の作況指数は、六月の日照不足により九十六の「やや不良」であったが、品質面では高いものとなった。当社には、例年通り県下一万一千余人の初穂講員から真心のこもった初穂米が献納された。これらの献上米は、新潟県農産物検査協会の審査員十五名(審査長同協会専務理事小林幸弘氏)により厳正に

二十二日 長野県八幡神社氏子総代会宮司今井泰氏外一行参拝
二十三日 山形県神社庁酒田鮑海支部第一区一行参拝
十一月中 新潟市新潟県茶商の会 一行参拝
五日 新潟市曹洞宗新潟県第一宗務所寺族会一行参拝
七日 長岡市曹洞宗新潟県第一宗務所寺族会一行参拝

高橋幸子氏 絵画奉納

昨年十一月十八日、日本美術家連盟会員の高橋幸子氏(東京都)により、油彩画「花筏」が奉納された。昨年の東京弥彦村人会の総会にて奉納依頼があったもの。作品は、水面の豊かな波紋と筏なす花びらの美しさが見事に表現されている。



九日 新発田市立正俊成会新発田教会教会長水藻快枝氏外一行参拝
十四日 新潟大学理学部学部長前野貢氏外一行参拝
十七日 神奈川県神社庁中平塚・伊勢原神社総代会一行参拝

審査され、特等以下各等賞が決定された。入賞米は初穂講百年記念みずほ館にて一般に展観された。本年の正講員特等賞の受賞者は左記のとおり。特別表彰である五年連続一等以上受賞は本年該当者なしであった。(敬称略)

- 新発田市西蒲区 押付 真島 大吉
- 津雲田本多 昇一
- 長岡市寺泊明ヶ谷小林 和昭
- 長倉 土田 文雄
- 三条市長沢 梶原 文夫
- 鳥川原 若林 清次
- 新発田市西糞口 佐藤 秋男
- 見附市葛巻町 酒井 文夫
- 燕市米納津 佐野 文夫
- 長辰 吉原 文夫
- 長岡市中野西 河内 藤雄
- 正講員特等賞

<p>彌彦神社前通 電話(055)94-1157</p> <p>御菓子司 三笠屋</p>	<p>元祖温泉饅頭 弥彦みやげに 祥立堂</p> <p>電話(055)94-2058</p>	<p>おれい</p> <p>(有) 弥生商店 新潟県弥彦村彌彦神社前 TEL (0256) 94-5841 FAX (0256) 94-5065 http://yayoi.sake-ten.jp</p>	<p>二階和カフエ 一階和雑貨和小物おみやげ</p> <p>社彩庵/とらこお</p> <p>彌彦神社前 電話042-261-2612</p>	<p>雪のように清く 湧水のように尊い 本物の国酒を愛する人へ</p> <p>泉流 こしのはくせつ</p> <p>醸造元 弥彦酒造株式会社 西蒲原郡弥彦村上米1830-1 TEL 0256-94-3100</p>	<p>謹賀新年</p>
---	--	---	--	--	-------------